

第180回ギャラリーコンサート

所蔵品展No.150 「生誕200年 大庭学僊 ～郷土の名匠と「日本画」の水脈～」の開幕に合わせて、江戸時代から伝承された日本の伝統音楽を演奏します。

令和の響き ～新春箏曲地歌の調べ～

と き 2020年1月25日(土) 午後2時開演

と ころ 下関市立美術館 2階展示ホール

入 場 料 所蔵品展の観覧受付が必要です。

※演奏前に奏者によるプレトークを行います。(午後1時10分～1時30分)

【出演者】 柳瀬和子・山本裕子・望月雅子・藤井妙子・水川陽一郎

【プログラム】 1. 明治松竹梅 2. 春の海 3. 根曳(ねびき)の松

【プロフィール】

柳瀬和子 九州系地歌箏曲家



下関邦楽協会会長、下関三曲連盟会長、下関文化協会理事、絃照会主宰、日本三曲協会会員
九州系地歌箏曲家 衛藤照子(初代 福田栄香内弟子)の長女として生まれる。稀代の箏曲家、赤木三晃に箏・三絃を師事、琴古流尺八宗家 五世荒木古童に三曲合奏を師事。2005年、五世荒木古童と柳瀬和子・新星三姉妹による箏曲地歌合奏集 CD4 枚組発刊。2011年、CD 合奏集Ⅱ 5 枚組発刊。2016年下関市教育文化功労章を受章。2019年 韓国釜山芸術祭伝統音楽交流会にて演奏披露。下関市在住。実娘、山本裕子、望月雅子、藤井妙子と演奏活動並びに後進の指導・育成に尽力している。

山本裕子 九州系地歌箏曲家



1968年九州系地歌箏曲家 柳瀬和子の長女として生まれる。6歳より安富幸子に箏を師事、18歳より母の手解きで三絃を始める。1996年～2007年赤木三晃に箏・三絃を師事。下関短期大学付属高等学校箏曲部講師。2018年下関市芸術文化振興奨励賞を受賞。2019年 韓国釜山芸術祭伝統音楽交流会にて演奏披露。下関市在住。演奏活動並びに後進の指導・育成に尽力している。日本三曲協会会員。

望月雅子 九州系地歌箏曲家



1970年九州系地歌箏曲家 柳瀬和子の次女として下関に生まれる。6歳より箏を、16歳より三絃を始める。1994年上京し、銀明会家元、藤井泰和の元で内弟子修業、2年後帰郷。2019年、藤本昭子東京紀尾井ホールライブに出演、9月、日洪外交関係開設150周年記念事業「ハンガリー地歌公演2019」に参加、出演。下関市在住。演奏活動並びに後進の指導・育成に尽力している。日本三曲協会会員。

藤井妙子 九州系地歌箏曲家



1976年九州系地歌箏曲家 柳瀬和子の三女として下関に生まれる。6歳より箏を、16歳より三絃を始める。1995年上京し、藤井泰和の元で1年間修業。1997年～2007年赤木三晃に箏・三絃を師事。2004年まで山口県立長府高等学校箏曲部講師。2019年韓国釜山芸術祭伝統音楽交流会にて演奏披露。下関市在住。演奏活動並びに後進の指導・育成に尽力している。日本三曲協会会員。

主催 下関市立美術館 下関市立美術館友の会

お問合せ 友の会事務局 083(242)0300